

高小コミスクだより

No.9 令和3年2月
かほく市立高松小学校
校長 笹山明夫
学校コーディネーター
澤野直美



立春を過ぎ、春が近づいてきました。この冬は3年ぶりの大雪でした。ゆきだるまやかまくらを作った方も多かったのではないのでしょうか。純粋に雪遊びを楽しむ子ども達を見ていると、たまには雪もいいものだなと感じました。

英語で数えたよ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

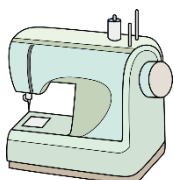


1月12日(火)、1年生はALTのローラマリー先生に英語での数字の言い方を習いました。子ども達は、人数を数えてグループを作るゲームなど3つのゲームを楽しみました。最後に、「1人で数えられる人～」と聞かれると、たくさん手が上がり、自信を持って数えていました。

ミシンでエプロン作り



1月26日(火)と28日(木)、5年生が家庭科でエプロンを作りました。6月に手縫いを教えてくださった山口外美さんと東谷真紀子さんに、今回はミシンの使い方を習いました。そして、密にならないように、ミシンがけは家庭室で、アイロンがけや手縫いは自分達の教室に戻って作業をしました。最後にお二人から「予定より早く進めることができた子がたくさんいました。お上手です。」とお褒めの言葉をいただきました。



お箏教室

今年度から、音楽の教科書の内容が変更され、4年生から和楽器を体験することになりました。1月27日(水)、お箏教室をされている川守雅楽伎(かわもりうたぎ)さんに、お箏と三味線について教えていただきました。角つめの付け方、お箏の前に座る姿勢、手の形等の基礎を教わり、「さくらさくら」を演奏しました。



今日はありがとうございました。お箏の音がすごくきれいでした。ぼくも練習してきれいな音をだしたいと思いました。

先生のおかげで和楽器のすばらしさがよくわかりました。お琴教室とても楽しかったです。三味線も上手にひいていて手さばきがすばやくてすごいなあと思いました。



※子ども達書いた川守雅楽伎先生へのお礼のお手紙の一部です。

薬物乱用防止教室

1月21日(木)北陸大学衛生科学系教授 宇佐見則行さんを講師にお招きし、6年生を対象に、「危険ドラッグって何？」と題し「良い薬、悪い薬」について教えていただきました。全員がリモコンを持って、リアルタイムにみんなの意見を集計できるシステムを使い授業をしました。みんながどう考えているかがその場で分かるので、子ども達は興味津々でした。

違法薬物ではなくても、私たちが普段飲む薬も間違っ使用と体に害を与えてしまうことがあるそうです。また、知らない人にもらった物は簡単には口に入れない、海外の知らないお菓子は、食べる前に成分表示を見ることが大切であること等を学びました。



心あたたまる絵手紙カレンダー

國近正男さんの絵手紙カレンダーをモスクギャラリーに展示しています。



第3回学校運営協議会

1月28日(木)、今年度最後の第3回学校運営協議会が開催されました。コロナ禍での活動を振り返り、学校運営協議会委員のご意見を承りました。来年度に向けて生かしていきたいと思ひます。

